



山いき隊員だより (栗島隊員)



兵越峠～朝日山

国有林の朝日山(1,692m)パトロールに同行させていただきました。兵越峠付近の登山口から県境の尾根沿いを歩いて行きます。カラマツ人工林やサワラ、イチイ、ヒノキの立派な天然木を見ることができなのが個人的なおすすめポイントです。

山頂付近は広くなだらかで尾根がわかりづらいので要注意です。今回も目印となるテープや布を巻いてきましたので、それらが見える範囲で散策をするのが無難だと思います。



ブナを中心とした林内



イチイ老木



天然ヒノキ



サワラ

ピンクテープを巻く



不思議な形の木



地域の山を歩く経験は何度もさせてもらっていますが、そのたびに昔から水窪の山を仕事場としてきた方々から当時の林業現場の雰囲気やエピソードを聞くのが何よりの楽しみになっています。

こういう話を聞いた時には、話してくれた人の感情や熱量も一緒に吸収して臨場感を伴った情報として自分の中に残しておきたいと思っています。

カラマツ林と枯れた笹



ツルニンジン



「宮」の字：御料林の名残



遠江



国有林の境界標



登山道に続く広場



野菜作りを教えてください！

畑の一面を少しお借りし、作業方法を教えていただきながら大根の種まきと白菜の苗植えをしました。畝(うね)を作ったり種をまいたりする作業は地元でも毎年見る風景なので、知ったようなつもりでしたが、自分でやると意外と勝手がわからないものです。

作業をしていると隣接する畑の方や近所の方が「畝が曲がっているわいねえ」「苗幅はもっと広いほうがええぞお」などと声をかけてくれるので、それも楽しみになっています。





畑でお話を伺う

ソバ

手前はナス、奥はタカキビ

＜井内さんの畑＞

9月の初旬に桂山地区の井内さんのお宅に伺い、畑の仕事や昔のくらしの話を取材してきました。井内さんの畑では、タカキビ、昔キビ、ソバなどの昔ながらのものから、食用ホオズキ、天狗ナス、マンジェリコン（ハーブの一種）などの面白いものまで、たくさんの作物が育てられています。

色々な種類の作物が区画分けされて育てられている様子はとても綺麗ですし、季節ごとに色々な作業があって作物を育てる楽しみも増えるだろうな、と感じました。それぞれの作物の種をまく時期や育てるコツも教えていただき、勉強になりました。



食用ホオズキ



マンジェリコン



天狗ナス



昔キビ

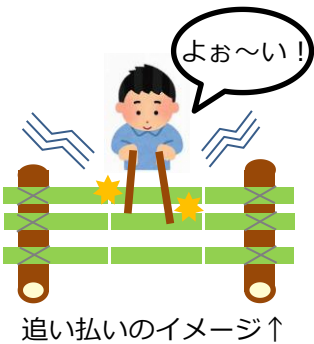
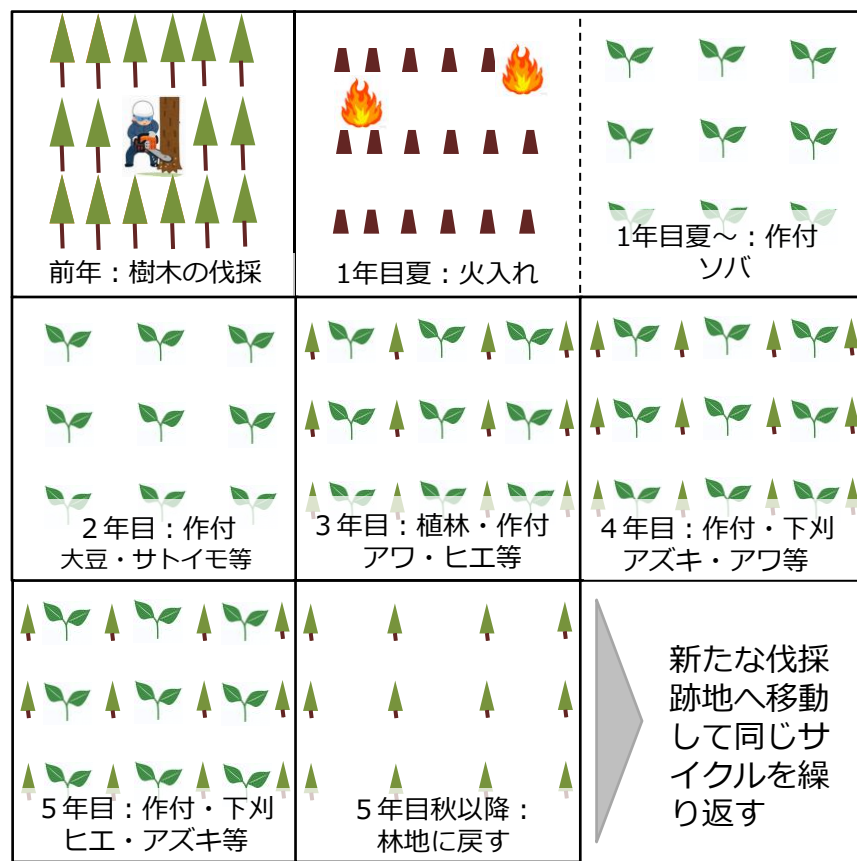
＜子供の頃の思い出～山小屋で過ごした夜～＞

井内さんが子供の頃は焼畑（「山づくり」とも言う）が地域でまだ行われていたそうです。山で木を伐採したところに火を放ち、その後数年間、そこでソバや大豆などを育てるのですが、作物を目当てに獣もたくさん寄ってきました。そのため、夜に畑近くの山小屋に上がっては、竹を半分に割って並べたものを木の棒で打ち鳴らして獣を追い払ったそうです。子供も家にいてもつまらないので、親に付いて山小屋で一夜を過ごしたそうです。獣を追い払う時に大人たちが発する「よお～い！」という掛け声が今でも思い出されるそうです。

私も町内の集落で軒先にぶら下げた一斗缶を打ち鳴らして獣を追い払うような仕組みのものは何度か目にしたことがあるのですが、それと似たような役割でしょうか。

翌朝から仕事もあるだろうに、夜な夜な山小屋で獣を追い払うのは大変な苦勞だったと想像されます。山小屋の中でカンテラの明かりを頼りに勉強したねえ、と懐かしそうに話してくれました。

焼畑や昔の暮らしについては、以前も隊員だよりで取り上げています。協働センターの階段下のところに全号を掲示しておりますので、興味がある方は是非ご覧ください！



焼畑の1サイクルのイメージ（文献参考）↑

